

協会に事務局を置く団体

| 神奈川県消化器がん検診機関一次検診連絡協議会 | |
|--|--------------------------------------|
| 設立年月日 | 昭和57（1982）年2月 |
| 代 表 | 会長：細川 治 （国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 院長） |
| 会 員 数 | 会員機関11＋相談機関2（2022年7月現在） |
| 設立の主旨 | |
| 県内における老人保健法（昭和57・1982年度～平成19・2007年度）および健康増進法（平成20・2008年度～）に基づく消化器がんの住民検診を行う一次検診実施機関の精度管理の向上、行政、学会、医師会をはじめとする関係機関との連絡協調を図り、共通の諸問題の研究、技術の向上を目指して討議を行い、消化器がん検診の充実、発展を図る | |
| 本年度の主な活動 | |
| 1. 協議会の開催 第89回協議会 書面開催 | |
| 2. 幹事会の開催 第107回幹事会 書面開催 | |
| 3. 研修会 令和4年3月29日 オンライン開催 症例提示、医師による講義と症例解説 等 | |
| 4. 技術部会 第1回 令和3年7月27日 第2回 令和3年10月5日 第3回 令和3年11月17日 第4回 令和4年3月29日 | |
| 事務局担当 | 新保文樹（業務部） |

| 神奈川県健康管理機関協議会 | |
|--|---------------------|
| 設立年月日 | 昭和56年（1981）年 |
| 代 表 | 代表幹事：（公財）神奈川県予防医学協会 |
| 会 員 数 | 13機関（2022年3月31日現在） |
| 設立の主旨 | |
| 県内において企業等の健康管理支援業務を行う企業外健康管理機関が、より質の高いサービスを提供するため、健康管理全般に関する支援として、精度の向上、適正な事業の運営等、共通の諸問題を協議検討すると共に労働衛生行政へも積極的に協力していくことを目的として設立 | |
| 本年度の主な活動 | |
| ◆年2回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、WEB対応による開催を1回とした。 | |
| ◆第1回協議会（令和3年5月13日） | |
| 1. 神奈川労働局からの連絡事項 | |
| 2. 情報交換会－各機関の近況と問題点－ 新型コロナウイルス感染症による事業への影響 | |
| ・令和2年度実施状況 | |
| ・令和3年度実施見込 | |
| ・新型コロナウイルスワクチン接種への対応状況 | |
| 事務局担当 | 両宮 徹（業務部） |

| （公社）日本作業環境測定協会神奈川支部 | |
|---|-----------------|
| 設立年月日 | 昭和56（1981）年7月 |
| 代 表 | 支部長：灰塚正隆 |
| 会 員 数 | 27機関（2021年3月現在） |
| 設立の主旨 | |
| 作業環境測定士の資質向上と測定技術の精度向上、測定機関の業務改善などを目的として設立 | |
| 本年度の主な活動 | |
| ◆会議 | |
| ①総会1回 ②理事会2回 | |
| ③技術専門委員会6回 ④機関全体集会1回 | |
| ◆第1回技術研修会（2019.6.11） 令和元年度の労働衛生行政の動向 （神奈川労働局 安部昭彦氏） | |
| ◆作業環境測定評価推進大会（2019.9.27） | |
| ①最近の労働衛生行政の動向 （神奈川労働局 塚田啓子氏） | |
| ②最新のリスクアセスメント手法について （中央労働災害防止協会 山室堅治氏） | |
| ③有機溶剤の健康障害について （クボタ 加部 勇氏） | |
| ◆第2回技術研修会（2020.2.3） | |
| ①たばこ煙の健康障害と分煙対策 （神奈川県予防医学協会 芦田敏文氏） | |
| ②作業環境測定実施事業場における環境改善事例 （オオスミ、相新、山梨厚生会） | |
| ③測定機器メーカーによるプレゼンテーション （スリーエム、柴田科学、アイデック、光明理化学） | |
| 今年度もコロナ禍のため活動ができなかったため、令和元年度の活動を記した。 | |
| 事務局担当 | 芦田敏文（環境科学部） |

| 神奈川県学校・腎疾患管理研究会 | |
|---|----------------------------|
| 設立年月日 | 昭和50（1975）年 |
| 代 表 | 会長：新村文男先生 （東海大学小児科 准教授） |
| 会 員 数 | 約90人（2021年4月現在） |
| 設立の主旨 | |
| 各地区医師会・自治体・大学医学部・病院・学校・検診機関が相互に連携し腎疾患対策を行い児童・生徒の健康に寄与すべく事業を展開 | |
| 本年度の主な活動 | |
| ◆学校現場との連携事業 | |
| ◆神奈川県学校検尿判定委員会合同会議 | |
| ◆医師部会 | |
| ◆定例研究会 コロナ禍のため、会議、研修会等は、中止 | |
| ◆機関誌 2021年度活動中止のため未発行 | |
| 事務局担当 | 佐藤光宣（業務部業務1課） |

| 子宮がん車検診実施検討会 | |
|--------------|--|
| 設立年月日 | 昭和46（1971）年 |
| 代 表 | 世話人：上坊敏子先生 （社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター顧問） |
| 会 員 数 | 構成医療機関等 ○協力医療機関 北里大学・東海大学・横浜市立大学・聖マリアンナ医科大学・日本医科大学の産婦人科 ○神奈川県立がんセンターの婦人科腫瘍専門医 ○協会細胞診専門医 |
| 設立の主旨 | 子宮がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。昭和58（1983）年老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として検討会を継承し、運営をしている。 |
| 本年度の主な活動 | ◆年1回検診・報告会 2021年11月30日 7階役員室（WEB開催） ◆検診・報告内容 車検診の集積データを検証し、発見症例の再検討などを実施して、精度の維持向上に役立てている。 |
| 事務局担当 | 佐藤光宣（業務部業務1課） |

| ピンクリボンかながわ | |
|------------|--|
| 設立年月日 | 平成18（2006）年4月 |
| 代 表 | 代表：土井卓子（湘南記念病院 乳がんセンター長） |
| 会 員 数 | 協力団体29団体（2022年7月現在） |
| 設立の主旨 | 乳がんの早期発見・早期治療をめざして、乳がん検診の受診率向上と乳がんについての知識の普及・啓発を目的として設立 |
| 本年度の主な活動 | ◆県内での活動 本年度の「ピンクリボンかながわ2021」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり対面イベントは出来なかったが、県内28施設をピンク色に染めるライトアップをピンクリボン月間にあたる10/1～3に開催した。QRコードからホームページの動画にリンクする名刺大のピンクリボン啓発カードを作成、またメッセージ動画をDVDにして、協力団体を通じ配付した。感染状況が落ち着いてきた3月開催のイベントに参加、対面による啓発活動を実施した。 ◆ピンクリボンの部屋開設 乳がん罹患した方々が気軽に相談できる場の提供を目的として、11月に湘南モノレール湘南江の島駅に設置した。（現在は感染状況を見極めながら休止中） ◆協働事業 企業・団体との協働事業の継続とともに専門学校生、大学とのコラボ企画に参加。SNSからの発信に取り組んだ。 |
| 事務局担当 | 齋藤好子（健康創造室） |

| 神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会 | |
|----------------------|---|
| 設立年月日 | 昭和60（1985）年 |
| 代 表 | 会長：福田 譲（聖マリ大 B&Iセンター院長） |
| 会 員 数 | ○乳がん検診（視触診・読影）協力医療機関 視・触診協力機関 16機関 読影協力機関 10機関 横浜市立大学附属病院・聖マリアンナ医科大学病院・藤沢湘南台病院・茅ヶ崎市立病院・平塚共済病院・小田原市立病院・山近記念総合病院・東海大学病院・伊勢原協同病院・平塚市民病院・海老名総合病院・相模台病院・湘南記念病院・東名厚木病院・横浜市南部病院・神奈川県立足柄上病院・国立病院機構相模原病院・大和市立病院・相模野病院・プレステアたまプラーザ・聖マリアンナ医科大学附属研究所B&Iセンター（2021年7月現在） |
| 設立の主旨 | 乳がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として神奈川県乳がん集団検診協議会を継承し、運営をしている。MMG運営委員会：上記連絡会の下部組織として、マンモグラフィ読影精度管理を目的として設立。 |
| 本年度の主な活動 | 1. 連絡会・MMG運営委員会 合同開催 3/11（リモート開催） 2. 症例検討会 第1回：7/16 10機関11名（リモート開催） 第2回：11/12 8機関10名（リモート開催） 3. 学会発表 第31回日本乳癌検診学会（11/26-27 京都市） 聖マリアンナ医科大学病院 津川浩一郎先生 |
| 事務局担当 | 山本寛典（業務部業務1課） |

| 神奈川県乳房画像研究会／神奈川県乳房超音波画像研究会 | |
|----------------------------|---|
| 設立年月日 | 平成10（1998）年12月／平成18（2006）年3月 |
| 代 表 | 世話人代表 加藤善廣（川崎市立多摩病院） |
| 会 員 数 | 27人（2022年9月現在） |
| 設立の主旨 | 乳がんの早期発見・治療のため、画像診断や装置の精度向上に役立つ情報提供や普及活動 |
| 本年度の主な活動 | ◆世話人会 8回開催（Web会議） 2021年4月26日、6月11日、7月15日、8月30日、10月1日、11月5日、12月6日、2022年2月10日 ◆研究会 3回開催（Web開催） ・第62回・39回研究会 2021年7月28日（水） 主要講義「超音波検査における非浸潤性乳管癌描出のコツ」 六本木ヒルズクリニック 桜井正児先生 ・第63回・40回研究会 2021年10月26日（火） 主要講義「Breast Awareness乳房を意識した生活習慣—概念、実践、利益、不利益—」 聖マリアンナ医科大学付属研究所B&I先端医療センター 福田譲先生 ・第64回・41回研究会 2022年2月21日（月） 症例検討「MMG・US画像の対比 Distortion編」 湘南記念病院 土井卓子先生 ◆他活動内容 コロナウイルスの影響により中止 ・横浜市医師会主催 ポジショニング研修会 ・超音波画像研究会主催 ハンズオンセミナー ・神奈川県医師会主催 MMG撮影技術講習会 |
| 事務局担当 | 見本喜久子・関春花（放射線技術部） |

| 禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議 | |
|---|----------------------------------|
| 設立年月日 | 平成11（1999）年11月5日 |
| 代 表 | 会長：加濃正人 |
| 会 員 数 | 個人会員143人、法人会員9 法人 (2022年5月現在) |
| 設立の主旨 | |
| 県内の禁煙・受動喫煙防止の普及啓発活動の目的で設立 | |
| 本年度の主な活動 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆総会・講演会 5月（オンライン開催） ◆常任理事会 4回（1回は書面開催、3回はオンライン開催）、理事会は未開催 ◆会員による講演会、セミナー 56回 対象者7654人（オンライン開催のため未把握数あり） ◆かながわ卒煙塾、かながわ卒煙サポートセミナー等への協力 講師派遣 13回 ◆イベントへの参加 イベント中止 ◆関連会議への協力 神奈川県（資料提出）、横浜市の会議へ参加（意見書提出） | |
| 事務局担当 | 栗原 博（専門委員） |

| スモークフリー推進かながわ基金 | |
|---|-----------------------|
| 設立年月日 | 平成22（2010）年 |
| 代 表 | 委員長：笹生正人（県医師会理事） |
| 会 員 数 | 委員6人（委員長含む、2022年9月現在） |
| 設立の主旨 | |
| 受動喫煙防止を浸透させ、自らの意思で受動喫煙を避けることができる環境の整備を促進するため、県民、法人等からの寄付金を原資として設立 | |
| 本年度の主な活動 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆「イベント・シンポジウム開催」事業 (1)受動喫煙防止県民向けイベントへの協力 (新型コロナ感染症拡大の影響で中止) (2)受動喫煙防止キャンペーンへの協力 (新型コロナ感染症拡大の影響で中止) ◆「広報普及啓発」事業 (1)ホームページを活用した普及啓発 (2)啓発グッズ作成 (新型コロナ感染症拡大の影響で作成せず) ◆「未成年者等喫煙防止教育」事業 (1)受動喫煙防止県向けイベントへの協力 (再掲) ◆「スモークフリー・サポーターズ・クラブ」事業 (1)スモークフリー・サポーターズ・クラブの運営・管理 参加費の徴収、缶バッチの交付はなし | |
| 事務局担当 | 栗原 博（専門委員） |

| 神奈川学校保健研究会 | |
|---|----------------|
| 設立年月日 | 昭和43（1968）年9月 |
| 代 表 | 会長：鈴木晴美 |
| 会 員 数 | 14人（2022年3月現在） |
| 設立の主旨 | |
| 県内の養護教諭ら、学校保健関係者が自主的に研修する場として設立 | |
| 本年度の主な活動 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆月例会6回（招待講師によるハイブリッド型オンライン講演。当協会3階・健康測定室を会場に若干名の会員が参加、他はオンライン視聴） 6月12日、9月25日、10月9日、12月12日、2022年1月29日、2月26日 延べ69人参加 ◆第52回夏期講習会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止。 | |
| 事務局担当 | 船崎隆文（健康創造室企画課） |